



# ニュースレター



NPO 法人大阪環境カウンセラー協会

第 11 号

Jul.2002

## 新年度のご挨拶

先の5月18日、NPO 法人大阪環境カウンセラー協会（OECA）の第2回定時総会を行い、会員の皆様の決議をいただき平成14年度がスタートいたしました。

また、今回は新たな入会者が多く、新しい力が一段と加わり会員数も100名を超え、大きな団体になってきました。

事業は発足当初より徐々に拡大し、13年度は環境事業団、省エネルギーセンター、大阪コミュニティー財団、谷川財団からの助成を頂くことができ、大きく拡大することになりました。

引き続き14年度も環境保全活動の重要性の高まりにともない、OECAの事業は、ますます拡大していくものと思っています。

協会役員は5名交代、新たに2名増員し体制を強化致しました。

省エネ部門は発展し、地球温暖化防止活動部門と名称をあらため範囲を広げて活動します。

EMS部門は内容を一層充実させ活動してまいります。

また、地域環境活動部門は継続するものの他、新たにEA

21の普及を目標として活動します。

さらに、OECAの今後の活動すべき事業について鋭意研究して実行に移すための研究会を設ける他、OECAの活動を知っていただくための広報活動にも力を入れてまいります。

事務局もNPO法人に相応した内容に致したく充実を図って参ります。

引き続き会員皆様の絶大なのお力添えをお願い致します。



## 定期総会特集

### 定期総会・概要

去る5月18日15時より大阪NPOプラザ3F会議室に於いて、平成14年度定期総会が開催された。

谷会員の司会により、長澤副会長が議長に、議事録の署名人として森監事、小林（昌）

監事が選出され、議案に沿って進められた。

議事は理事長挨拶に始まり、平成13年度活動実績報告、同年度決算報告及び監査報告が全員一致で承認された。

続いて、平成14年度事業計画説明、同年度予算案と定款の一部変更、事務所の所在地変更、理事の一部交代も全員一致で承認され無事総会を終了した。

### 平成14年度事業計画の概要

事務局（事務局長：長澤弘一郎）会計、会報発行、一般事務

地球温暖化防止活動部門（部門長 阪野 喬）

部門名称を「省エネ部門」から「地球温暖化防止活動部門」に変更し、森林保護、廃棄物削減、リユース、リサイクル等の地球温暖化防止に関連する問題に幅広く対応することとなった。当面は省エネルギー地域活動支援事業、省エネモデル校事業への参画等の活動を行う。

環境マネジメントシステム普及部門 (部門長 宇田吉明)

EA21 普及活動、大阪市(なにわエコライフ支援事業)、大阪府(エコアクション宣言協力事業) ISO14001 認証取得支援活動、内部監査、ポリテク、環境報告書の第三者監査等の活動を行う。

地域環境活動部門 (部門長 高井 茂)

大阪府 4 地区の環境家計簿・環境セミナーを主体とした活動。

業務研究部門 (プロジェクト)

グリーン調達など今後の課題の研究調査を行う。

広報・助成金窓口部門 (部門長 島林泰人)

広報活動(OECAの知名度を上げる)、助成金取得窓口

### 役員の一部交代

役員の一部交代は次のように2名増員となった。

- ・ 退任：中村副理事長、赤根理事、八木理事、岸本理事、後藤理事
- ・ 新任：大畑理事、鹿島理事、島林理事、谷理事、中島理事、星野理事、吉村理事

### 特別講演

定期総会に先立ち、「大阪市の地球温暖化対策について」と題し、大阪市都市環境局環境部長増田喬史氏の特別講演会が開催された。

“地球温暖化対策がされないと、21世紀の終わりには、地表温度が1.4～5.8、海面が9～88cm上昇すると予測されている。国内外の取組として、この8月のヨハネスブルグで京都議定書の発効に向けて各国が批准手続を進めており、日本においても、新地球温暖化対策推進大綱を決定するなど、その手続を進めている。(本コッスルター発行時点で批准済)

大阪市では、地球温暖化防止に向けた環境に配慮したまちづくりを進めており、大阪市環境基本計画などにに基づき、環境教育などの様々な地球温暖化防止の施策を推進している。”

(島林 記)



## 主要部門の活動計画・紹介

### 地球温暖化防止活動部門(部門長 阪野 喬)

今年度から部門名称を「省エネ部門」から「地球温暖化防止活動部門」に変更し、省エネのみならず、森林保護、廃棄物削減、リユース、リサイクル、等の地球温暖化防止に関係する問題に幅広く対応していくことになりました。当面は省エネルギーセンターの助成事業を中心とした事業展開を行います。随時その他の関連テーマも取り上げていきたいと思ひます。

#### 1. 省エネルギー地域活動支援事業

(財)省エネルギーセンターの助成金により小中学校教員、児童、市民を対象とした省エネ啓発活動を行います。

1) 小中学校教員向け「地球温暖化と省エネルギー」セミナー

- 2) 小学校向け「省エネ移動実験教室」
- 3) 小中学校向け「地球温暖化と省エネルギー」授業
- 4) 一般市民向け「地球温暖化と省エネルギー」セミナーと実験教室
- 5) 省エネルギーセンターの器材による省エネ教室

## 2. 省エネモデル校事業への参画

(財)省エネルギーセンターにより平成13年度より実施されている当事業に対し、推進委員会への参画と共に、モデル校からの依頼による外部講師の派遣を行います。

## 3. 大阪ガスの天然ガス自動車のPR

当協会の地球温暖化対応事業推進に必要な、天然ガス自動車を大阪ガスより貸与を受け、天然ガス車の普及、PRに協力します。



## EMS(環境マネジメントシステム)普及部門の活動について(部門長:宇田吉明)

当部門はEMSを啓発普及し、継続的な改善活動を促進することにより、環境保全を図ることを目的としています。昨年は近畿ポリテクカレッジに講師を派遣しEMS関連のカリキュラムを実施したり、中小企業に環境活動評価プログラム(EA21)の導入支援などを推進したりしました。今年度は市民向けに、EMSの考え方を啓発してゆくことにも力をいれています。

その一環として大阪市とのパートナーシップにより「なにわエコライフ」事業に企画段階から参画し、その推進に協力しています。この「なにわエコライフ」は環境家計簿に環境ISOの考え方を取り入れたもので、方針を宣言し、目標を立て、実践し出来ているかどうかをチェックし行動を見直す仕組みです。これに参加登録して、実践記録(7~12月の半年間)を提出すると「なにわエコライフ」認定証が発行されます。

6月に参加者へ「なにわエコライフ」の説明を、OECA会員延べ20名動員し実施しました。9月に「がんばってる」会で、参加者の情報交換、疑問点の相談をOECA会員が実施する予定です。



## 会員活動報告

### “すいた環境教育フェア2002”に参加

去る6月22日、吹田市メイシアター(吹田市文化会館)において、「未来の地球を考えよう!」をテーマに吹田市主催による“すいた環境教育フェア2002”が開催された。

プログラムは小中学生の環境に関する絵画の展示、環境学習、環境保全活動事例発表、各種演劇等多彩で、OECAは吹田支部の活動として、環境教育に関連する省エネ実験、環境人形劇、パネル展示、環境パンフレットの配布などで参加し、盛況の内に終了した。

(長澤記)



### “なにわエコライフ”~家庭版ISO~

#### 大阪市12区へOECA講師14名派遣!

昨年、大阪市へ「なにわエコライフ」の企画事業を提案・受託した。本年6月に市内24区に1000名の参加者を募り、6月13~29日の間、各区の保健センターなどでOECA講師陣14名による説明会が開催された。

- ・とめよう地球温暖化!
- ・誰でも簡単に出来る環境家計簿!

を呼びかけ・説明した。

9月には引き続き「がんばってる会」が予定され、7~12月間、頑張った方には認定証が発行されます。(伊達記)



## 新理事の抱負

### 大畑 明

5月総会で理事に指名され、7月から地区環境活動部門大阪南地区リーダーを中村孝様に代わって引き受けることになりました大畑です。私自身、栗本鉄工所を本年1月に60歳定年になるまで、技術、設計、環境と10年余の間隔で回りましたが、ラスト11年間は激しい移り変わりを見せた環境を扱う部門に所属し、それなりの対応が出来たことが心の支えになっています。OECAは今年が3年目で躍進の年、と聞いていますし、NPOの重要性がますます問われることを思い、がんばります。

### 鹿島 啓

昨年末に鉄鋼会社を退職し、今年の4月から大阪経済法科大学経済学部勤務しています。「中小企業論」の他、「環境問題と企業経営」や「内外の国際化」演習も組当し、サラリーマンと違った生活を学生と一緒に楽しく新鮮にすごしています。また、大学のある八尾市の市役所・商工会議所と連携し発足した「コミュニティビジネス研究会」で、地域連携事業を研究しています。OECAにおいても、地域と環境をキーワードにコミュニティ・ビジネスの実践的研究をして、活動に結びつけたいと考えています。

### 島林泰人

この度、皆様方のご支援とご推挙により、重責をいただきました。この重責を、皆様方のご指導ご鞭撻を頂きながら、当協会の更なる飛躍に貢献できるよう、そしてご期待にそえるよう、精一杯頑張りたいと思います。

さて、21世紀は環境の世紀といわれています。いま、持続可能な循環型社会へ向けて、ライフスタイルを見直し、環境重

視の行動規準を確立するなど、環境にやさしい社会の構築が急がれています。

そのために、住民、事業者、民間団体そして行政は、互いに連携しかつ各々の立場で可能な環境活動を積極的に展開することが求められており、当協会では多岐にわたる活躍の場があります。

当協会のメンバーの皆様の輝かしい経歴を考えると、他に比類の無い人材バンクでもあり、事業企画次第で、社会に貢献できる可能性があり、そのことが当協会の大課題あると考えられます。

このような情勢の折、ご縁があって当協会の重責の一人として参加させて頂くことは、私にとって、大変光栄と考えています。

### 谷 美也子

この度、理事に就任致しました谷です。

昨年度は、省エネ実験教室の講師として高槻市の小中学校を中心にあちこち回り、ずいぶん勉強させていただきました。今年度は、高槻市立小学校に勤務することになり、なかなか自由に動けなくなってしまいました。が、OECAの益々の発展に寄与できるよう、尽力する所存です。

### 中島延雄

私は、雪国の高い山々が連なる、その山裾に生れ育ちました。山裾を流れる川は、ちょっと雨が降ると一転濁流と化し、時には道路を削り、橋を流したりする川でしたが、普段は川底が見える清流で鮎、岩魚、ヤマメなどの他、時にはサケやマスが遡上することもあり、子供の頃は、その川で遊ぶのが日課でした。

今は都会に住む私ですが、子供の頃のあの山や川をイメージ

してOECAで活動する所存です。

### 吉村喬史

私は38年間の松下電器での体験を経て、今春、定年退職いたしました。その間、エアコン事業部門では、エアコン及びコンプレッサーの国内・海外戦略立案推進に携り、生産技術本部では本部室長や製造力強化センター所長として、全社ものづくり政策の立案・推進にあたり、本社では環境保護推進室長として、全社環境行政の立案推進に取組んで参りました。そして今後は、経験を生かす第2の人生を求めるとし、環境カウンセラーとなりました。

21世紀は環境の世紀といわれ、今2002年は地球環境サミットがリオから10年ぶりに南アフリカ・ヨハネスブルクで開催され地球環境問題への関心がより一層高まって行きます。この機をとらえ、大阪環境カウンセラー協会が飛躍する力になればと思っています。

### 星野勲史

昭和49年4月から平成11年3月まで、大阪府大学工学部環境工学研究室に勤務。燃焼および大気汚染対策について研究。平成2年より現在まで、国際協力事業団の「大気汚染対策コース」にて、「大気拡散理論」について講義。平成5年から現在まで、大谷女子短期大学にて「生活環境論」の講義。(略歴紹介)





## TOPICS

**助成金**：当初予定していました環境事業団は不採択になりましたが、省エネルギーセンターは採択されました。

**なにわエコライフ**：大阪市の委託を受け、大阪市内1000家庭を目標にした「なにわエコライフ」普及事業が始まり、OECAは大阪市12区について説明会を行い、大盛會に終わりました。参加された方は、ご婦人が圧倒的に多く、環境に対する情熱がひしひしと感じました。9月には引き続き「がんばってる会」をOECAがお手伝いする予定です。

**環境省**：新たに大阪の中央区大手前に環境省近畿地区環境対策調査官事務所ができましたが、OECAは週に3日、この事務所に駐在して、環境相談や環境活動の立案や実施をお手伝いすることになりました。すでに島林理事が同所で活動を開始しています。

**すいた環境教育フェア**：6月22日に盛大に行われました。吹田市では毎年行っていましたが、OECAでは、環境実験教室・エコネコ座公演・パネル展示を行い、初参加しました。多くの市民が参加され、市長さんも一つのブースを回られて激励されていました。

**総務省**：総務省近畿管区行政評価局：環境省のご紹介で、8月から当分月1日、行政相談の仲間入りをして、環境相談を受け持つことになりました。場所は心齋橋大丸旧館6階の行政相談コーナーです。

**会員数**：現在106名になりました。今後も会員の増加に努めます。

### “環境省近畿地区

#### 環境対策調査官事務所・駐在”

7月より環境省近畿地区環境対策調査官事務所（小谷所長）へ、島林、大畑理事など8人が輪番で、隔日に駐在することとなりました。同省に自治体、各種団体、企業などから寄せられるいろいろな案件・要請などの対応や同事務所の行う事業等の企画を担当しています。

今までに、奈良県中学校からの訪問、府下企業団体からの講師依頼や問合せ等がありました。

住所：大阪市中央区大手前2-1-2

国民会館・住友ビル1F

TEL：06-4792-6530 FAX：06-4790-2800



写真は執務中の  
島林理事

### “環境カウンセラー全国連合会”に加盟

環境カウンセラー全国連合会（略称ECU）は平成13年に設立され、今年6月21日東京都北区赤羽会館において第2回2002年度年次総会が開催されました。

OECAは今年度から加盟することとなり、高井理事長がECU理事に選出されました。現在岩手県から九州に至る全国から19団体が加盟しており、事務局は（社）全国環境保全推進連合会（通称全関連）内に置かれています。

今年度は環境事業団の地球環境基金から580万円の助成金の交付を受け、環境教育の教材作成に関する調査研究と全国5ヶ所での指導者養成研修会が予定されており、OECAにも協力要請がありました。（阪野記）

（社）全国環境保全推進連合会

〒113-0033 東京都文京区本郷3-14-10

泰生ビル

TEL (03) 5684-5730・5735 FAX (03) 5684-5739

<http://www.napec.or.jp/index.html>

総会のアンケート結果

総会のアンケート結果は以下の通りでした。(敬称略)

地域活動部門

池村俊明、鹿島 啓、前 弘、小鯛雄一、妹尾一成、藤原勝彦、太白公明、横手幹彦、津田善弘、中野雅彦、荒崎 博

地球温暖化防止活動部門

藤井基弘、行徳正則、池村俊明、鹿島 啓、前 弘、小鯛雄一、谷美也子、栗本修滋、伊達比呂吉村孝史、松崎 洋、津田善弘、中野雅彦、堀 勝弘、荒崎 博

EMS 部門

藤井基弘、小林善博、池村俊明、鹿島 啓、小鯛雄一、上砂正一、落合 修、妹尾一成、吉田文武

島崎 清、室田成望、藤原勝彦、太白公明、島林泰人、吉村孝史、松崎 洋、津田善弘、堀 勝彦

環境家計簿普及活動

小鯛雄一、上砂正一、津田善弘、前田展利、

EA21 維持活動

藤井伸通、池村俊明、小鯛雄一、太白公明、森 格、島林泰人、津田善弘、三ツ木一雄

広報部門

山本善稔、伊達比呂、津田善弘、福田 裕、

会報部門

津田善弘

グリーン調達等研究

小鯛雄一、吉田文武、島崎 清、島林泰人、吉村孝史、津田善弘

事務局よりのお知らせ

本年より会計担当者として、経理事務士の蔵前幸子氏をお迎えし、会計一切を見ていただくことになりました。蔵前氏は1週間に1回程度事務所に来られる予定です。

また、交代制の事務所勤務の試みを7月度より始めることになり、中本、大畑、中島、阪野、高井、長澤が担当します。

事務所の仕事はとかく雑用が多く皆様方の積極的なご協力をお願いします。

事務所を移転致しましたので次にご紹介致します。

(長澤記)

新事務所の紹介

アクセス:

ルート1: 阪神野田駅・JR東西線海老江駅、地下鉄千日前線野田阪神駅から約800m

大阪駅、阪神野田駅・JR東西線海老江駅、地下鉄千日前線野田阪神駅からは、大阪市営バスが出ています。

阪神野田駅・JR東西線海老江駅、地下鉄千日前線野田阪神駅からは、100円バス「赤バス」が出ています。共に吉野停留所下車、2m。

ルート2: JR環状線野田駅、地下鉄千日前線玉川駅から約600m

大阪NPOプラザ(ONP)

各NPOおよび中間支援組織が自由に事業を展開できる「市民活動&NPO総合拠点」です。ここでは、市民活動団体が、ミッション実現のために活動を推進します。

運営面は、行政による委託ではなく、入居団体等で構成されるONP運営委員会が主体となり、ランニングコストは貸事務所や貸会議室の利用料徴収によって賄うPFI(民間資金等活用)方式を取ります。(大阪NPOプラザHPより転載。)



編集後記: OECA ニュースレター第11号は、5月発行を予定し、桜の花が咲き出した4月頃から準備に入りましたが、事務所の移転や定期総会開催のずれ込み等、関係者の多忙もあり、台風の去来する今月発行になってしまいました。

さて、OECAはNPO組織となり第3年次を迎え、会員数も100名を超えて、益々の発展が期待されております。このOECAの最近の新しい動向などを伝える使命を負ったニュースレターの新編集スタッフとして、今年度から下記の5名となりました。会員の皆様のご支援、ご投稿、ご意見などよろしく願い致します。

編集スタッフ: 小林、島林、伊達、津田、中島

(02/07: 小林正中記)

(このニュースレターは再生紙を使用しています)

発行者: NPO法人 大阪環境カウンセラー協会  
住所: 〒553-0006 大阪市福島区吉野 4-29-20  
大阪NPOプラザ 201号  
TEL: 06-6460-8886 FAX: 06-6460-8882 e-mail: oeca@mw.0038.net http://osaka-eca.hoops.ne.jp/

発行人: 高井 茂

